

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公表番号】特表2002-538771(P2002-538771A)

【公表日】平成14年11月19日(2002.11.19)

【出願番号】特願2000-587730(P2000-587730)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 C

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 31/18

C 0 7 K 16/28

A 6 1 K 37/02

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】モノクローナル抗体または該抗体の断片であって、P A 14(ATCC受付番号HB-12610)と命名されたハイブリドーマ細胞株によって産生された抗体P A 14と同じエピトープに結合するモノクローナル抗体または該抗体の断片。

【請求項2】請求項1に記載のモノクローナル抗体または該抗体の断片であって、P A 14(ATCC受付番号HB-12610)と命名されたハイブリドーマ細胞株に由来する相補性決定領域(D C R)を含んでなるモノクローナル抗体または該抗体の断片。

【請求項3】請求項2に記載のモノクローナル抗体であって、P A 14(ATCC受付番号HB-12610)と命名されたハイブリドーマ細胞株によって産生されたP A 14と命名されたモノクローナル抗体または該抗体P A 14の断片であるモノクローナル抗体。

【請求項4】請求項1または2に記載のモノクローナル抗体であって、ヒト化抗体であるモノクローナル抗体。

【請求項5】請求項1または2に記載の抗体断片であって、ヒト化抗体の断片である抗体断片。

【請求項6】請求項4に記載のモノクローナル抗体または請求項5に記載の抗体断片であって、前記ヒト化抗体またはヒト化抗体断片は、ヒト免疫グロブリン分子由来のフレームワークを含んでなるモノクローナル抗体または抗体断片。

【請求項7】請求項6に記載のモノクローナル抗体または抗体断片であって、前記ヒト免疫グロブリン分子がI g G 1、I g G 2、I g G 3、I g G 4、I g A、およびI

g M からなる群から選択される、モノクローナル抗体または抗体断片。

【請求項 8】 請求項 7 に記載のモノクローナル抗体または抗体断片であって、前記ヒト化抗体は、ヒト I g G 2 免疫グロブリン分子のフレームワークを含んでなるモノクローナル抗体または抗体断片。

【請求項 9】 請求項 7 に記載のモノクローナル抗体または抗体断片であって、前記ヒト化抗体が、ヒト I g G 4 免疫グロブリン分子のフレームワークを含んでなるモノクローナル抗体または抗体断片。

【請求項 10】 請求項 4 ~ 9 の何れか 1 項に記載のモノクローナル抗体または該抗体の断片であって、前記ヒト化抗体が、P A 14 と命名されたモノクローナル抗体に由来するモノクローナル抗体または抗体の断片。

【請求項 11】 請求項 1 または 2 に記載のモノクローナル抗体であって、キメラ抗体であるモノクローナル抗体。

【請求項 12】 請求項 1 または 2 に記載の抗体断片であって、キメラ抗体の断片である抗体断片。

【請求項 13】 請求項 11 に記載のモノクローナル抗体または請求項 12 に記載の抗体断片であって、前記キメラ抗体または前記キメラ抗体の断片が、ヒト I g G 2 またはヒト I g G 4 免疫グロブリン分子の定常領域を含んでなるモノクローナル抗体または抗体断片。

【請求項 14】 請求項 1 ~ 13 の何れか 1 項に記載のモノクローナル抗体または該抗体の断片であって、検出可能なマーカーでラベルされたモノクローナル抗体または該抗体の断片。

【請求項 15】 請求項 14 に記載のモノクローナル抗体または該抗体の断片であって、前記検出可能なマーカーが、放射性マーカーまたは蛍光マーカーであるモノクローナル抗体または該抗体の断片。

【請求項 16】 請求項 1 ~ 15 の何れか 1 項に記載のモノクローナル抗体または抗体断片であって、C C R 5 + 細胞に特異的に結合するモノクローナル抗体または抗体断片。

【請求項 17】 請求項 1 ~ 16 の何れか 1 項に記載のモノクローナル抗体または該抗体の断片、および担体を含有する組成物。

【請求項 18】 請求項 17 に記載の組成物であって、更に、抗微生物剤、抗酸化剤、キレート化剤および不活性ガスからなる群から選択される少なくとも一つの添加剤を含有してなる組成物。

【請求項 19】 請求項 17 または 18 に記載の組成物であって、前記モノクローナル抗体または該抗体の断片は治療的に有効な投与量で存在し、前記担体は薬学的に許容可能な担体である組成物。

【請求項 20】 請求項 1 ~ 16 の何れか 1 項に記載のモノクローナル抗体または該抗体の断片の使用であって、C D 4 + 細胞への H I V - 1 融合およびウイルス侵入を阻害するための組成物を調製するための使用。